

情報モラルちょっと授業

～10分程度で指導する情報モラル～

対象学年	中学校 3年
------	--------

領域	技術科
指導項目	SNS やチャットの利用にあたってのルールやマナー

情報モラル指導モデルカリキュラム (http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html)			
指導分野	法の理解と遵守		
コード	c4-2	指導事項	情報の保護や取扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る。
指導のねらい	コンピュータ教室内での仮想的なチャットができる教材を使用することによって、生徒が SNS など情報機器を使ったコミュニケーションの状況を学級全体で知り、生徒自身が情報発信のルールやマナー、情報機器の使用方法など情報の取り扱いを考えるきっかけにする。		

科目・活動との関連	情報モラルの授業を行う前や、行った後、現状把握やより理解を深めるために体験的学習として指導を行う。
利用教材(サイト等)	・コンピュータ教室内で仮想的なチャットができるシステム

学習の過程 (10分)	指導法	指導の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについてチャットを行う。 ・書き込みを見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初や最後に、授業に関連するテーマに沿って、自分の意見や考えをチャットに記入し、他の人と共有させる。 ・書き込み全体を読み直させる時間を設定し、言葉遣いやマナーを確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切な書き込みがあれば、その理由を考えさせる。また、今後続くことがないようにするにはどうすればいいかを考えさせる。

子どもの反応	注意しているつもりでも、実際に書き込みをすると、不適切な表現での書き込みが多いことに気付くことができていた。
実践の評価	授業の導入や実践として複数回行うと、だんだんと言葉遣いや表現方法を意識するようになり、適切な表現が増えた。

利用教材について

<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ教室内で仮想的なチャットができるシステムを利用することで、簡単に授業を進めることができる。
--

指導のポイント

<ul style="list-style-type: none"> ・短時間での実践を継続的に行うようにするとよい。 ・テーマ例として「個人情報の発信」「画像のコピーの是非」「スマートフォンの利用時間(ネット依存)」「セキュリティ対策」など、技術科の内容に関連したものや、「地域の課題」「地球温暖化の対策」など、他の教科に関連する内容でもよい。

自作教材・ワークシート等（リンク）

特になし